**【テーマ２】　ＩＲ立地に伴う懸念事項の最小化とＩＲ誘致に向けた理解促進**

|  |  |
| --- | --- |
| **めざす方向** | ギャンブル等依存症や治安・地域風俗環境などＩＲ立地に伴う懸念事項の最小化を図るとともに、ＩＲ誘致にあたって地域の合意形成が円滑に進むよう、府民の興味・関心に応じた情報発信を行い、理解促進を図ります。（中長期の目標・指標）　・ギャンブル等依存症、治安・地域風俗環境などＩＲ立地に伴う懸念事項の最小化に向けた対策を推進する。　・ＩＲ誘致にあたって府民の合意形成に向けた理解促進を図る。 |

|  |
| --- |
| **ＩＲ立地に伴う懸念事項の最小化とＩＲ誘致に向けた理解促進** |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（R2.3月末時点）＞** |
|  | **■ギャンブル等依存症や治安・地域風俗環境対策の推進**　　・ＩＲ誘致を契機にギャンブル等依存症の抑制を図るため、予防教育や啓発活動に取り組む。・依存症対策のトップランナーをめざし、全国をリードする依存症対策（＝大阪モデル）の構築に向けた検討を進める。・治安・地域風俗環境対策の具体的な取組み内容を検討する。（スケジュール）2019年4月～：高校生向け依存症予防教育（リーフレット、出前授業、動画教材）、高校等の教員研修に向けた関係各所との調整、事業実施　　　　　　　　　　　　治安・地域風俗環境対策にかかる関係機関等との協議・検討2019年６月～：ギャンブル等依存症対策研究会において、依存症の実態把握や依存症対策にかかる調査・研究を実施**■府民の興味・関心に応じた戦略的な情報発信**　　・よりきめ細かく丁寧な対応に努めるため、府民全体に加えて、大学生・若い世代や女性、地元企業を対象にした情報発信などを行い、理解促進を図る。（スケジュール）2019年4月～：対象別の情報発信手法の検討、関係各所との調整、各種セミナーや出前講座等を順次開催 | ◇活動指標（アウトプット）・府内すべての高校３年生（約9万人）を対象に、ギャンブル等依存症対策のリーフレットを作成・配付。・高校への出前授業を10校で実施。・依存症予防教育を支援するツールとして、動画教材を作成・展開。・高校等の教員向けに研修を実施。・テーマに応じてギャンブル等依存症対策研究会を適宜開催。◇成果指標（アウトカム）（定性的な目標）・高校生を中心とする若者等にギャンブル等依存症に対する正しい理解を促進する。・ギャンブル等依存症対策研究会での検討も踏まえ、実施方針や区域整備計画の策定に向けた準備を行う。・実効性のある具体策の検討を進め、良好な治安及び善良な地域風俗環境の確保をめざす。◇活動指標（アウトプット）・各種セミナーを12回以上開催・団体や大学等への出前講座や関連セミナー等への協力（講師派遣など）◇成果指標（アウトカム）（定性的な目標）・ギャンブル等依存症などの懸念事項にかかる対応策も含め、ＩＲに対する府民理解の促進を図る。（数値目標）・各種セミナーや出前講座等の参加者数3,000名以上 | ○依存症予防リーフレットについては、関係部局との協議・調整のうえ、作成し、12月に府内高校、支援学校高等部などに配付した。○依存症予防等に関する高校生向け出前授業を10校で実施した（参加生徒数 約3,100名）。○動画教材については、関係部局と協議・調整のうえ、　作成し、３月末に府内高校、支援学校高等部などに配付した。〇教員向け研修・８月に専修学校教員研修を実施した（28名参加）。・12月に高校教員研修を実施した（64名参加）。○「ギャンブル等依存症対策研究会」（４回開催）において、IR事業者に求める対策などについて検討を進め、それを踏まえて必要な対策を実施方針（案）やRFPの募集要項に盛り込んだ。○治安・地域風俗環境対策については、国の動向等を大阪府警と共有するとともに、警察力の強化に向け、夢洲における警察署の設置など、具体的な対策の検討を進め、実施方針（案）やRFPの募集要項に盛り込んだ。○各種セミナー：13回・1,004名【開催実績】・府民向けセミナー(８回・536名)・ギャンブル等依存症予防セミナーを実施した(3回/204名)。・地元・中小企業向けビジネスセミナーを実施した(2回・264名)。○団体や大学等への出前講座や関連セミナー等へ協力した（講師派遣など）。：39回・2,681名【開催実績】・経済団体等への出前講座を実施した(８回・406名）。・大学への特別講演や出前講座を実施した(31回・2,275名)。○その他の取組みできるだけ多くの方にＩＲについての正しい情報を届けるため、府政だより(９月号)へ特集記事を掲載したほか、ＩＲ基本構想を踏まえ、新たに制作した動画やパンフレットなど多様な広報ツールを活用して情報を発信した。 |